

競技注意事項

I. 規則について

本大会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則(以下競技規則)並びに本大会申し合わせ事項・競技注意事項により実施する。

II. 練習について

1. マスクの着用について
競技時以外はマスクを着用すること。
2. 密集・密接の回避ウォーミングアップ及び練習は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、個別に行なうこと。
3. 競技前練習について
 - ① 役員の指示に従い安全に留意すること。
 - ② 補助競技場をウォーミングアップエリアとして設ける。

III. 招集について

1. 招集の方法について
 - ① コールルーム(以下招集所という)は、GATE11 外(100mスタート地点後方側)に設置する。
 - ② 競技者は出場種目の招集開始時刻になり次第、招集所でシューズ、スパイク、アスリートビブス(以下ナンバーカード)の確認を受け、腰ナンバーカードを受取ること。
 - ③ 確認後は係員の指示に従い招集所に待機すること。
 - ④ 招集完了後に種目別又は招集単位で係員の誘導により競技場所に移動すること。
 - ⑤ 代理人による招集の点呼は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、最初の種目の招集開始時刻までに所定の「多種目同時出場届」を招集所へ提出すること。(用紙は招集所に準備) その場合に限り、招集時刻の点呼に代理人を認める。
 - ⑥ 招集完了時刻に確認を受けていない競技者は、当該種目については棄権とみなして処理する。による招集は認めない。
 - ⑦ 招集時間は競技日程を参照すること。

IV. アスリートビブス(以下 ナンバーカード)について

1. ナンバーカードは、エントリーシートに記載したナンバーが書かれたナンバーカードを持参すること。安全ピンは各自持参すること。
2. ナンバーカードは、ユニフォームの胸と背に確実につけること。ナンバーカードの折曲げは禁止する。ただし、跳躍種目については胸または背の何れかの1枚の取りつけを認める。
3. 招集時受取った腰ナンバーカードを右腰やや後方寄りに、数字が見えるように貼り付けること。ユニフォームで腰ナンバーカードが隠れないように貼り付けること。腰ナンバーカードはシールタイプのため、張り替えると粘着力がなくなるので注意すること。

V. 競技について

1. 不正スタートに関しては、競技規則 TR16.7 により失格とする。
小学生の部は、同一競技者が 2 回不正スタートを行なった場合は失格とする。但し競技はおこなうが記録は計測しない。
2. スタートの合図は、全て英語によるものとする。
3. リレーオーダー用紙は、招集所で受取り 招集完了時刻1時間前までに招集所競技者係に提出すること。
4. 競技用シューズに関するルールについてワールドアスレティックス(以下「WA」という)による WA 規則第 143 条(テクニカルルール第5条=TR5)が適用されますので、規定外のシューズでは競技できません。(発覚した場合は失格扱い) レース後、審判長が競技者に検査のためシューズの提出を求めることがあります。
6. 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。

VI. 抗議について

1. 抗議は日本陸上競技連盟競技規則 TR8.2 及び 8.3 に基づき、アナウンスで正式に結果が発表されてから 30 分以内に、競技者自身または代理人が口頭で審判長に申し出なければならない。
2. 審判長の裁定不服の場合には、その競技者に代わる責任者より上訴申立書と預託金(¥10,000)を添えて、正式な手続きをとること。この預託金は抗議が受け入れられなかった場合には没収される。
3. 上訴申立書と預託金は、第4集会室 大会本部へ提出すること。

VII. 競技場使用上の注意

1. 男子更衣室とシャワールームの使用を禁止する。
2. 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、大声を出しての応援、タイム読みは固く禁止する。
3. 新型コロナウイルス感染予防から未就学児及び乳幼児の入場はお控え下さい。
4. 審判・補助員及び選手受付時に申請した者以外のメインスタンドへの立ち入りを禁止する。(リストバンド未装着者の入場を禁止する。)
5. メインスタンドとバックスタンドは、選手の待機場所として使用を認めるが、待機時には競技者間の距離を十分確保とマスクを着用すること。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、競技者は、競技時間に合わせて競技場施設に立ち入り、競技終了次第に競技場施設内から退出すること。競技場退出時には、すべての持参物を持ち帰ること。
6. 開門前、閉門後に許可なく競技場内、スタンド内に侵入している競技者を発見した場合、厳重に注意し、その競技者及びその所属団体の出場を認めない場合がある。
7. 競技終了後は役員の指示に従ったルートで控え場所への移動、競技場退場すること。
8. 当該競技の出場者以外はトラック・フィールド内に立ち入ってはならない。注意に従わない場合、競技の出場を認めない場合がある。
9. 競技場内において競技者は助力とみなされる映像機器、音響機器、通信機器に類似するものの使用・所持を禁止する。勧告を受け入れられない場合は、TR6. 競技者に対する助力とみなし失格とする。

10. 医務室は競技場内に設ける。なお、大会期間中において起こった怪我に対しては主催者側が応急手当を行うが、それ以降の治療に関しては一切責任を負わない。ただし、出場者は原則として、スポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。なお、新型コロナウイルス感染症はスポーツ安全保険の適用対象外である。
11. 貴重品の管理は各個人で責任を持って行うこと。盗難・紛失について主催者は一切責任を負わない。拾得物があった場合は、上尾運動公園陸上競技場にて一時保管をする。
12. ゴミは各個人が責任を持って持ち帰ること。
13. 競技場内でのすべての電源の使用を禁止する。
14. 開閉門時間は以下の通りとする。
開門及び閉門は、開門 7 時 30 分 閉門 17 時 00 分とする。
ただし、予告なく変更する場合がある。
また、選手受付が終わっていない選手は競技場内には立ち入らないこと。
※本大会に出場する競技者は、競技終了後速やかに退場すること。

VIII. その他

1. 記録証明書を希望する競技者は、400 円を添えて第5集会室 記録室までに申し出ること。記録証明書の発行に即日対応できない場合は、後日郵送となる。その場合には別途送料を負担すること。
2. 競技場内での写真、ビデオの撮影については、選手のプライバシー及び肖像権を保護するため大会関係者及び主催者に許可された者以外の撮影は禁止する。
3. 盗撮防止のため、大会役員が声をかけることがあるが、その場合は速やかに撮影許可証を提示すること。また、許可なく撮影している者を発見し次第、厳重に処分する。
4. 練習及び招集、競技中など本大会に関わるすべての行為について、競技者への付き添いを禁止する。
5. 競技結果等は記録処理終了後、上尾市陸上競技協会ホームページ【大会速報ページ】に記録を掲載するため掲示板による掲示は行わない。
6. 個人情報の取り扱いについて
 - ① 大会の映像・写真・記事・個人記録などは、主催者及び主催者が承認した、第三者が、大会案内・結果の掲示運営の目的で、新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。大会の映像は、主催者の許可なく、第三者がこれを使用すること、インターネット上において画像や動画を配信することを含むを禁止する。
 - ② 主催者は、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。尚、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成および作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

※注意事項：競技前の練習は補助競技場で行うこと。競技場内では、招集完了後に競技役員の誘導で競技場所に移動した競技者のみ利用を許可する。

これを無視して競技場内で練習をおこなった競技者については棄権扱いとする場合があります。

新型コロナウイルス感染予防注意事項のお願い

本競技会は、埼玉陸上競技大会『陸上競技大会再開のガイダンス』に従って、競技会運営をおこないません。

I. 体調管理について

1. 参加者全員(審判補助員、競技者、受付申請した指導者・コーチ)は、必ず【大会前・大会中／提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート(競技会1週間前から大会中実施) (注1)による体調管理を実施すること。体調不良時には大会参加を中止し競技場への来場も控えること。提出がない場合は、競技会への参加を認めません。
2. 大会後は、【大会後／個人管理用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート(注2)で体調管理を実施すること。注1:以降「【提出用】体調管理チェックシート」と記載する。
注2:以降「【個人管理用】体調管理チェックシート」と記載する。
3. 団体・チーム・学校単位での参加者
 - ① 選手は、「【提出用】体調管理チェックシート」を責任者(顧問)に提出する。
 - ② 責任者(顧問)は体調管理チェックシートを確認後に宣誓書を記入し、大会日毎に選手受付に提出すること。
 - ③ 責任者(顧問)は、万が一感染が発生した場合に備え、「【提出用】体調管理チェックシート」を個人情報の取扱いに注意しながら1ヶ月間保存すること。
 - ④ 廃棄するにあたっては廃棄した証を記録しておくこと。
4. 個人参加者
「【提出用】体調管理チェックシート」または、宣誓書を大会日毎に選手受付に提出すること。
5. 競技役員
競技役員は、「【提出用】体調管理チェックシート」を大会当日、役員受付に提出すること。
6. 「【個人管理用】体調管理チェックシート」は、団体・チーム・学校単位での参加の場合は各団体、個人の場合は各自で保管管理し、保健所、本協会が提出を求めた場合には、遅滞なく提出できるようにしてください。
なお、最後に記入した日から最低1カ月間は保管してください。
7. 競技会終了後、2週間以内に発熱などの症状があった場合には、保健所、本協会へ必ず報告すること。

II. 参加者が競技を行う際の留意点

1. 基本的注意事項
 - ① 招集所では他の競技者とのソーシャルディスタンスを確保し、マスクを着用して招集を受けること。
 - ② 競技場内外を問わず、唾や痰を吐く行為は行わないこと。
 - ③ タオルの共用はせず各自で持参すること。
 - ④ 待機場所では、周囲の人とソーシャルディスタンスを確保し、大声での応援や会話をしないこと。
2. 競技中などに競技者が倒れた場合は直接触れることをせず、医務室や大会本部へ連絡すること。ただし、緊急を要する場合は、その限りではない。

3. トラック競技中はマスクを着用する必要はないが、招集時・移動時・待機時には着用すること。
なお、マスク着用による熱中症にも十分注意をすること。
競技終了後には、手洗い、洗顔等を徹底すること。
4. フィールド競技
 - ① フィールド競技における招集完了後の競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
 - ② 新型コロナウイルス感染症対策の観点から、試技の待ち時間はマスクを着用すること。
 - ③ 走高跳の競技場所での練習は、通常のバーを用いて行う。

III. その他の留意点

1. 競技場入場時にはマスク着用を確認する。マスクを着用していない場合は、競技場内への入場を禁止するので注意すること。競技時以外はマスクを着用し、特に会話するときは必ずマスクを着用すること。
2. 手洗いの実施
 - ① 手洗いは、30 秒以上行うこと。石鹸は競技場内にも準備する。
 - ② 手を拭くためのタオル等を共用しないこと。
 - ③ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を使用しこまめに消毒すること。競技場内にも準備するが、できるだけ各自で持参すること。
3. 洗面所(トイレ)の使用
 - ① トイレ内の複数の参加者が触れると思われる箇所(ドアノブ、水洗トイレのレバー)を触れた場合は、こまめに手洗いをする。
 - ② トイレの便器に蓋がある場合は、必ず蓋を閉めて汚物を流すこと。
 - ③ 手洗いは、石鹸等を使用し 30 秒以上行うこと。
 - ④ 手をふくためのタオル等は各自で準備すること。
4. その他
 - ① 公共交通機関等の移動時も 3 密の回避など感染予防を徹底すること。
 - ② 競技場への立ち入りについては、「競技場立入制限」を厳守すること。
 - ③ 選手だけでなくコーチが競技者に対して会話する際もマスクを着用すること。
 - ④ 競技会に出場する選手のための参加とするため、観戦、応援ためだけの者は来場することができません。
 - ⑤ 集団での場所取りや声を出しての応援は固く禁止する。

(別記 2) 競技場立入制限

本競技会は、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、観戦については1選手につき1名までの登録制の有観客とする。そのため、本競技会では、リストバンドを用いて入場制限を行うこととする。

I. リストバンドの配付について

1. 選手及び競技役員(含む補助役員)は受付時に、「宣誓書」または、「【提出用】体調管理チェックシート」の提出と交換に配付する。
2. 指導者、コーチ、付添者等の選手以外の観戦スタンドに入場する場合は、選手受付時に競技場入場者リストを提出しリストバンドを受取ること。
3. 観戦目的での競技場への入場については1選手1名までとし観戦者リストを選手受付時に提出し観戦者用リストバンドを受取ること。
4. 競技場内、競技場スタンドへの出入り時に係員に提示すること。
5. 選手は競技に支障がない一方の片手に常時装着すること。
6. リストバンドを複数名で使い回し等の行為をあった場合は、選手だけでなく所属する団体は失格扱いとして施設内より即退去すること。

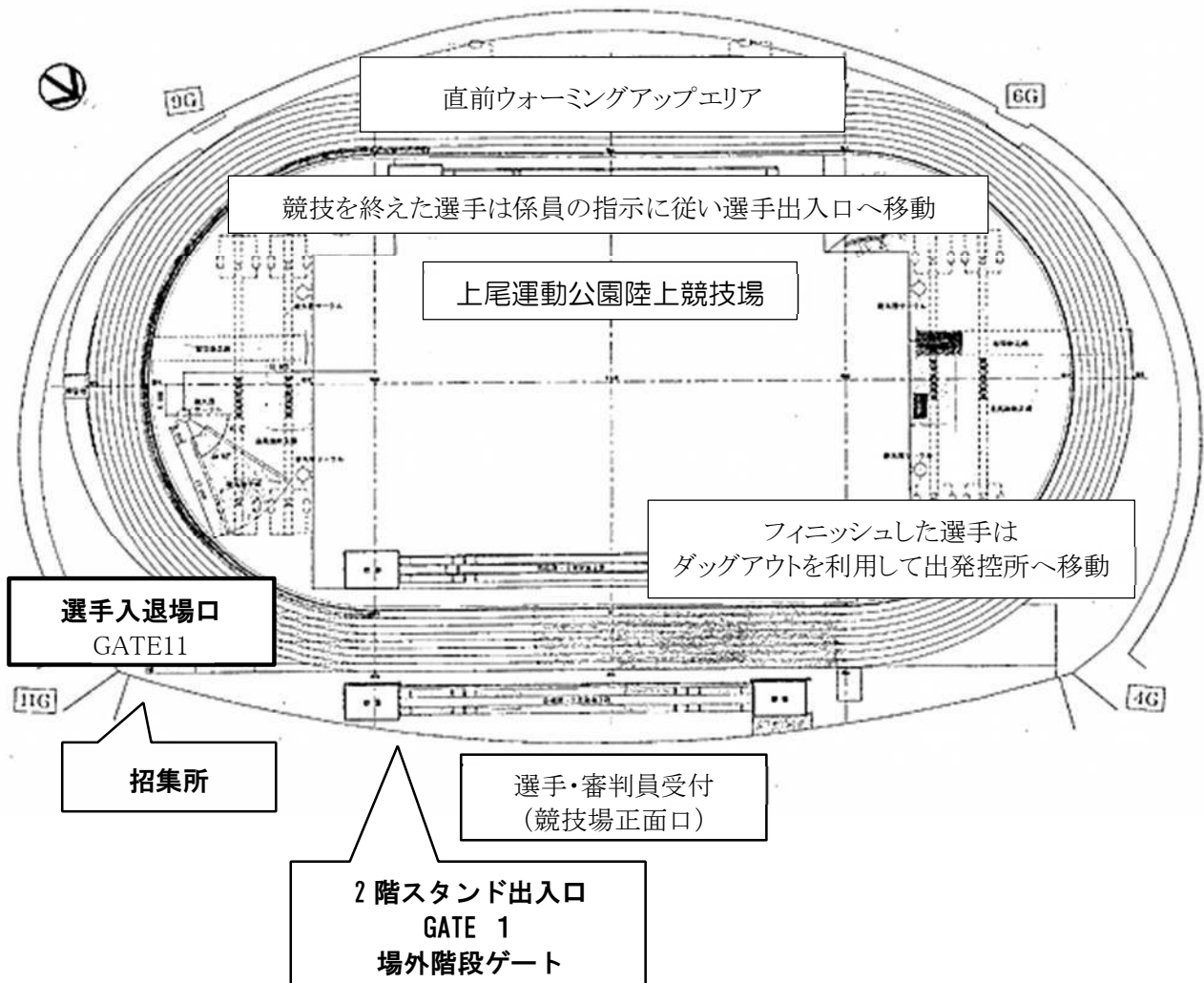
II. 入場について

1. 競技場スタンドへの入退場は、会場図に示す**2階スタンド入口 Gate1**のみとする。入場時にはリストバンドの提示と検温をおこなうこと。
2. 検温を拒否した場合は競技場内施設への立入りを全て禁止します。
3. 競技場への入退場は**Gate11**(100mスタート地点後方側)のみとする。
4. 入場時には手指アルコール消毒をおこなう。アルコールの利用ができない人は各自用意した手指消毒剤にて消毒すること。
5. リストバンドによる立入制限を設けていますので注意すること。
6. マスクを着用していない場合は、入場を許可しない。
7. 入場時の検温で37.5° Cを超える場合は入場を断る場合がある。
8. マスクの着用ができない乳幼児は入場できない。

III. 退場について

1. トラック競技終了後は、ダッグアウト(地下通路)を通り、選手出発控所に移動すること。競技場内の競技区域の移動を禁止する。
2. 移動時には、係員の指示に従って移動すること。
3. 選手出発控所より競技場外に退場する場合は、芝生スタンド通路を通り、入退場口**Gate11**から退場すること。
4. 観戦スタンドの両側にある通用階段の利用は禁止する。

会場図



(別記 3) 補助競技場をウォーミングアップ場所とする

補助競技場はリストバンド未着用者の立入りはできません。

公園内のグリーンロード(ジョギングロード)は、一般利用者を優先とし反時計回りの一方走行とする。ウォーミングアップ場では本大会種目以外の練習は禁止する。以下の注意事項を厳守し事故が発生しないように注意して利用すること。

◆ウォーミングアップ場利用上の注意事項

- ① 補助競技場の出入口は、競技場側のみの1か所とする。
- ② 入場時には係員にリストバンドを提示すること。
- ③ 走行方向は、反時計回り方向への一方走行のみとする。
- ④ トラック内にハードル等の機材等を置いての練習は禁止する。フィールド内でおこなうこと。
- ⑤ 移動時や運動時以外は必ずマスクを着用すること。
- ⑥ マスクを着用して利用する場合には熱中症に注意すること。
- ⑦ 選手間の会話を避けておこなうこと。
- ⑧ 係員の指示に従うことができない場合は利用を禁止する。